

Alfa Laval's
Business Principles:
The way we act
アルファ・ラバル
ビジネス原則:
私たちの行動指針





今回の改定について:

当社のビジネス原則は2003年に初版が発行され、2011年の国連によるビジネスと人権に関する指導原則」である「保護、尊重、救済」の概念、および2011年の多国籍企業向けOECDガイドラインの改定内容を取り入れるべく、2012年に改定されました。

2017年の改定では、2015年の英国現代奴隷法のコンセプトを取り入れました。

ビジネス原則はアルファ・ラバル取締役会の承認を得ています。

なぜ行動指針 が大事なので しょうか

アルファ・ラバルの4つのビジネス原則は、事業目標を達成する一方で、私たちが社会の中でどのように行動すべきかを示すものです。倫理的で持続可能なビジネスのやり方が、当社の成功に不可欠であると信じています。

アルファ・ラバルを代表する者による違法で非倫理的な行為や行動は、アルファ・ラバルの長年にわたる評判や品位を貶め、アルファ・ラバルに深刻な悪影響を及ぼす可能性があります。私たちが誇りを持って働き、倫理と高潔さが支配する会社を創るのは、私たち全員の行動にかかっているのです。私たちは責任ある行動を取り、人権を尊重するという強い決意を持っています。当社のビジネス原則は、当社の企業価値観に反する行動について懸念を表明し、疑問を提起できるようにすることを目的としています。

私たちは皆、このビジネス原則を熟読し、アルファ・ラバルの従業員またはビジネスパートナーとして私たちに何が期待されているかを理解しなければなりません。そして皆さんが、どのように行動すべきかを決める際のガイドとしてぜひ活用してください。私たち一人ひとりが、これらの原則に沿って確実に行動する責任があります。共に行動することでこそ、当社のビジネス原則が活きてくるのです。

2021年3月、ルンドにて



トム・エリクソン
社長兼最高経営責任者



ビジネス原則を 活かす

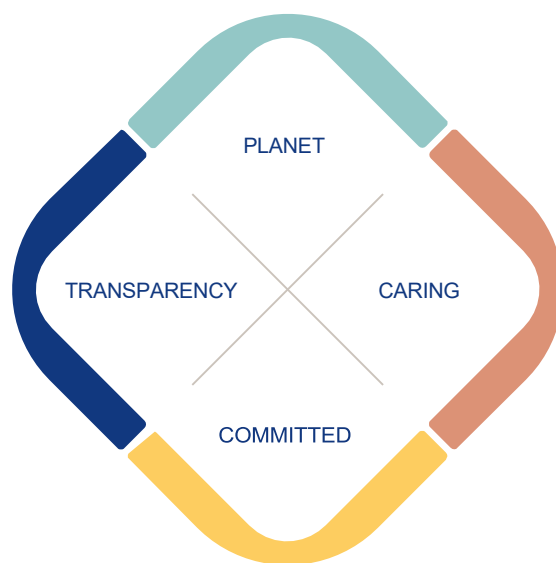
当社の約束は、アルファ・ラバルのビジネス原則に従って行動することです。そして私の役割は、従業員、サプライヤー、お客様、その他のビジネスパートナーとして、これらの原則を活かすことなのです。

当社の4つのビジネス原則：「Caring(安全と人の尊重)」、「Committed(倫理と公正)」、「Transparency(透明性と信頼)」、「Planet(地球と環境)」は、事業目標を達成しながら社会の中でどのように行動しなければならないかを示したものです。

ビジネス原則を追求することで、より持続可能な未来の実現に貢献し、顧客、従業員、地球のために成功を加速させる多くの機会を見出すこともできます。

このビジネス原則は、臨時雇用者、コンサルタント、派遣社員、業務委託者、そしてアルファ・ラバルのために行動するビジネスパートナーを含む全ての従業員(以下、従業員)に適用されます。

サプライヤー向けのビジネス原則もこれらのビジネス原則に基づいており、当社のすべてのサプライヤーに適用されます。





私は従業員として次のように行動します:

- > 日常業務においてこれらのビジネス原則を適用し、これを遵守する責任を負います。
- > 適用される法規制に従い行動します。
- > ビジネス原則に関する最新の知識を得るために、必修の研修およびその他関連する研修をすべて受講します。
- > 必要な場合は、上司またはグループのコンプライアンス部門に連絡し、指導を受けます。

私はマネージャーとして次のように行動します:

- > 模範を示して先導します。
- > チーム員が定期的に研修を受けるようにします。
- > ビジネス原則に対する違反があった場合は報告し、それに対処します。
- > 内部通報制度について理解し、それについて従業員に周知し、教育する責任を持ちます。

日常生活における ビジネス原則



本書を読んで理解することは、あなたの責任です。本書は、当社があなたに期待すること、そしてあなたが業務において直面するさまざまな状況にどのように対処すべきかを知るのに役立ちます。この文書を保管し、行動指針の参照資料として活用できるようにしてください。

もちろん、本書であなたが直面し得る状況のすべてをカバーできるわけではありません。さまざまな場面でどうすれば良いかわからないときは、以下を参考にすると良いでしょう：

- > この決定や行動は、当社のビジネス原則に沿ったものか？
- > これから行おうとしている決断や行動に自身が納得できるか？
- > その状況は、ビジネス原則または会社のポリシーに記載されているか？ 自分の行動はそれらに従っているか？
- > この決断や行動は、会社、同僚、地球環境にとって良いことだと思えるか？

法律の遵守

適用されるすべての法律とアルファ・ラバルの社内ポリシーの遵守が、当社のビジネス原則の基盤となっています。

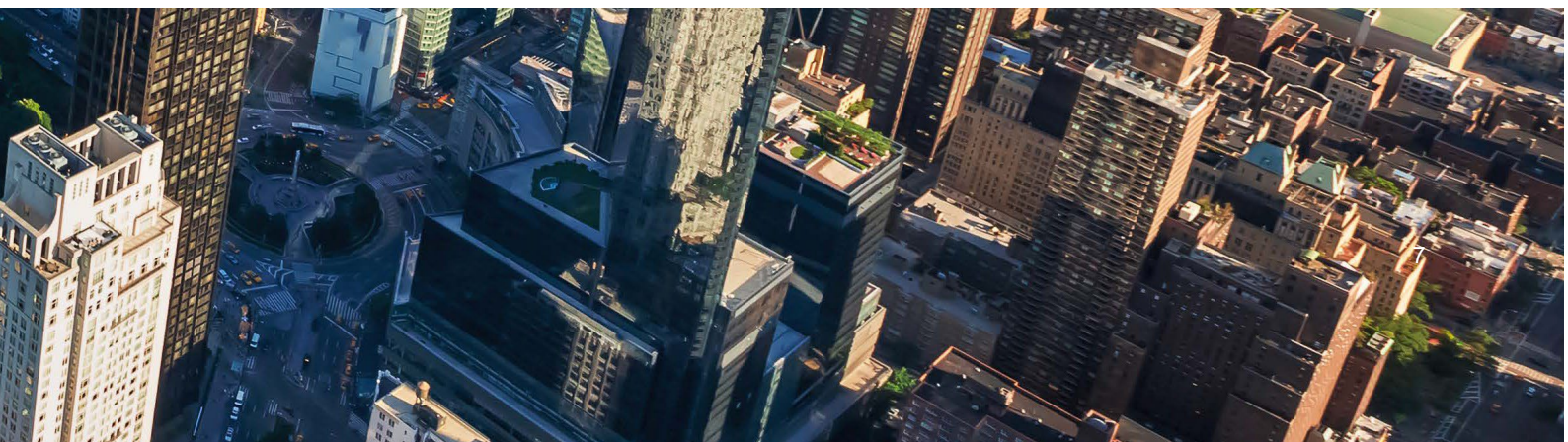
私たちは、当社が事業を展開する各国の法律や規制を遵守しなければなりません。私たちはまた、国際的な規制、社会基準、自主的な取り組みの変遷について承知しており、当社の事業に関係するものをビジネス原則に取り入れています。当社のビジネス原則またはポリシーのいずれかが現地の法律と矛盾する場合、ビジネス原則が法律に反しない限り、より厳しい方が適用されることになります。法律がアルファ・ラバルの方針よりも厳しい規則を定めている場合は、その法律が適用されます。

あなたは従業員として、あなたの業務を規制するすべての法的要件および社内ポリシーに従わなければならない。法律に違反した場合、操業停止、高額な罰金や損害賠償請求、さらには会社の悪評やブランドの毀損につながる可能性があります。また、多くの国において、アルファ・ラバルとあなたの両方に対する犯罪捜査や制裁につながる可能性もあります。あなたは、詐欺行為、窃盗、マネーロンダリング、その他の不正行為の疑いや懸念事項があれば報告する責任があります。



懸念事項がある場合は

当社のビジネス原則に違反する懸念がある場合は、できるだけ速やかに直属の上司に相談してください。それが難しい場合は、さらに上位のマネージャー、人事部、グループ法務部、またはその問題に関係するポリシー責任者に相談してください。上記がいずれも適切でないとと思われる場合、または匿名を希望する場合は、「**Speak up !**」内部通報セクションを利用してください。その場合、以下のQRコードをスキャンしてください。





安全で、包括性に 富む企業文化で 発展する



CARING

私たちは、安全やウェルビーイングを含め、一人ひとりの権利と機会を大切にします。当社はグローバル企業であり、多様性がすべての従業員の可能性を最大限に引き出すと確信しており、一人ひとりの権利と機会を尊重します。

ビジネス原則「Caring(安全と人の尊重)」には以下の項目が含まれます：

- 人権
- 包括性と多様性
- 安全衛生
- 組合活動の自由
- 児童労働と強制労働
- 労働条件



一人ひとりの基本的人権を尊重する

人権とは、国際人権規約および国際労働機関(ILO)の中核的条約に表明されているものであり、両条約には各国独自の権利が補完されることがあります。当社の人権に対する取り組みの重要な部分は、労働者の権利と労働条件に関するものです。

当社の約束：

- > 当社は、私たちの言動を通じて倫理と人権に対する決意を示し、事業活動によって影響を受けるすべての人々の信頼を得よう努めます。
- > 当社は、人権に対する悪影響が発生した場合は、それに対処します。
- > 当社は、事業の規模、特性と状況、および人権への悪影響の重大性に応じて、適切な人権デューデリジェンスを実施します。
- > アルファ・ラバルが人権に対する悪影響を引き起こしたり、またはその一因となった場合、当社は合法的なプロセスを通じてその是正に組み、またはそれに協力します。

私の役割：

- > 私は、自分の業務の範囲において人権を守る責任があります。これは、業務、行動、決定が人々にどのような影響を与えるかを考慮し、悪影響を最小限に抑えるよう努めることを意味します。
- > 私は、人権に対するリスクを見つけた場合、上司、グループ法務部、または人事部に報告します。また、懸念事項は、当社 [website](#)にある「**Speak up!**」内部通報セクションを通じて通報することもできます。

一体感を醸成する

包括性に富んだ職場は人権を認め、すべての人に誠実さ、敬意、尊厳をもって接し、同時にすべての従業員に一体感を与えます。また、これは多様性を推進し、差別やハラスメントを容認しないことも含まれます。

当社の約束:

- > 当社は、包括性に富んだ職場の維持に努めます。
- > 当社はあらゆる差別の排除に取り組み、機会均等の原則を指針とします。
- > 当社は、人種、肌の色、性別、宗教、性的指向、政治的意見、出身国または社会的出自、年齢、障害、婚姻状況、妊娠、疾病、またはその他のいかなる事由に基づく差別も行いません。
- > 当社は、職場におけるいかなる種類のハラスメントやいじめも容認しません。
- > 当社は、個々の従業員に対して否定的な行動を繰り返すなど、職場での迫害行為を容認しません。

私の役割:

- > 私は、職務上の地位や年齢などの違いに関わらず、すべての人に敬意と尊厳をもって接します。
- > 私は、いかなる雇用上の決定においても差別扱いを排除します。
- > 私は、書面および口頭での発言を含め、性的な誘い、陰口、冗談やからかい、誹謗中傷的な言葉など、いかなる形態のハラスメントも慎みます。
- > 私はマネージャーとして、自分の立場を乱用して侮辱、恫喝、または悪意ある言動をしたり、下位の従業員に対して自分の地位を乱用することはありません。
- > (私自身を含む)誰かがいじめやハラスメントを受けている状況にある場合は、上司または人事部に報告します。あるいは、当社 [website](#) の「**Speak up!**」内部通報セクションを通じて匿名で通報します。
- > ガイダンスが必要な場合は、人事部までお問い合わせください。



関連するポリシー:

アルファ・ラバルグローバル採用ポリシー
アルファ・ラバル包括性・多様性ポリシー



毎日安全無事に帰宅する

私たちのビジョンは、全員が毎日安全無事に帰宅することです。アルファ・ラバルの安全衛生ポリシーは、規則や法律の遵守にとどまりません。

当社の約束:

- > 当社は、従業員や当社施設を訪れる人々に安全で健康的かつ魅力的な職場環境を提供することに取り組みます。
- > 当社は、職場での傷害や職業病のリスクを軽減するために、保護具と明確な作業要領を提供します。
- > 当社の製品は、通常の操作環境や作業条件下で安全が確保できるよう開発し、そのために、合意された基準や法的に要求される基準をすべて満たすべく設計します。

私の役割:

- > 私は、常に職場の安全を最優先します。
- > 私は、自分の職務範囲において健康、安全、ウェルビーイングに対するリスクを常に考え、どのように対処できるかを提案します。
- > 私は、アルファ・ラバルの保護具を使用し、安全手順に従い、また当社の安全衛生マニュアルに従って安全に行動する責任があります。
- > 私(または同僚)に課された業務が、傷病を引き起こす可能性があると思われる場合は、作業を中止し、直ちに上司に報告します(これは、お客様またはサプライヤー先で勤務する場合も同様です)。
- > 安全衛生上のリスクを負うことなく業務を遂行するために、健康状態、身体的状態に注意し、薬物やアルコール、疲労、ストレスなどによる悪影響がないようにします。
- > 自分の役割に関わらず、安全な職場の実現に貢献するために、率先して可視化された行動を取り、私自身と同僚が毎日安全無事に帰宅できるようにします。
- > マネージャーとして私は、来訪者が訪問前に適切な安全上の説明を受けられるようにするなど、あらゆる潜在的リスクを最小限に抑えるように努める直接的な責任があります。
- > ガイダンスが必要な場合は、人事部または安全衛生マネージャーにお問い合わせください。



関連するポリシー:
アルファ・ラバル労働安全衛生
ポリシー

建設的な交渉と対話に取り組む

従業員は、団体交渉が認められている組織を含め、労働組合および従業員代表組織に参加するなどの結社の自由を有します。.

当社の約束:

- > 当社は従業員との建設的な関係を重視しています。当社は、従業員または従業員の代表者と直接関わることで、自由で透明な対話のある開かれた職場環境を維持することを目指しています。これには結社の自由と団体交渉の権利も含まれます。

私の役割:

- > 私には、組合組織などを結成したり、組織を選んで参加・不参加を決める自由があります。
- > 私はマネージャーとして、従業員がこの自由を行使することを禁止しません。また労働組合や従業員代表と会社との対話が建設的かつ敬意を持って行われるよう努めます。
- > ガイダンスが必要な場合は、人事部または選択した組合の代表者にお問い合わせください。





児童労働と強制労働に反対する

児童労働とは、子どもから、その幼少期、可能性、尊厳を奪う、心身の発達に有害な労働と定義されます。

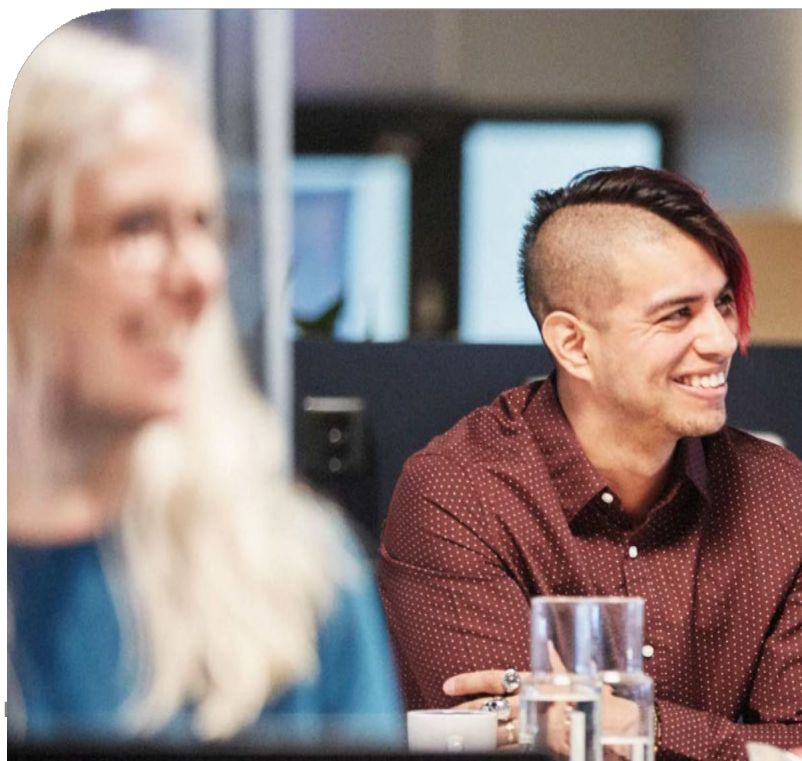
強制労働とは、人から罰則など脅しの下でやらされる労働や、本人の自主的な申し出によらない労働のことです。強制労働には強制的な性的虐待も含まれます。アルファ・ラバルは、上記のいずれも容認しません。

当社の約束:

- > 当社は、児童労働や、いかなる形態の強制労働、非自主的労働、人身売買労働も容認せず、その廃絶に全力を尽くします。
- > 当社は、出張時またはその他の会社を代表するいかなる活動においても、人の意思に反して、または対価を支払ってでも、虐待、搾取、または性的行為を行うことを決して容認しません。

私の役割:

- > アルファ・ラバルの活動、あるいはサプライヤーやビジネスパートナーの活動に関連して、児童労働、強制労働、人身売買労働のリスクを示すものを見つけた場合、私はただちにグループ法務部、人事部に連絡するか、あるいは、当社 [website](#) の「**Speak up!**」内部通報セクションを通じて通報します。



公正な労働基準を確保する

私たちの人権への取り組みの重要な部分は、労働者の権利と労働条件に関するものです。当社は常に従業員の権利とサプライヤーやビジネスパートナーのために働く人々の権利を尊重し、高い労働基準の確保に努めます。

当社の約束：

- > 当社は仕事と私生活の両立を推進します。
- > 当社は、報酬に対して責任ある対応を目指します。当社の雇用条件と報酬は、最低限でも現地の最低賃金および団体協約を含むその他の法的要件を満たすものでなければなりません。
- > 当社は、従業員が技術やビジネスの変化に適応できるよう、能力と順応性を継続的に向上できる機会を提供します。
- > 最低労働年齢を上回る程度の見習い、研修生、夏期労働者などの若年労働者に仕事をさせる場合、当社は彼らの脆弱性を十分に考慮し、法律で定められた追加措置が確実に提供されるようにします。

私の役割：

- > 特別な業務上の事情がある場合を除き、私には所属する国の法規に従って毎週休暇を取る権利があります。
- > 私は、報酬や労働時間を含め、労働条件に関する明確な情報を確実に受け取ることができます。
- > 私は、自分の能力を積極的に向上させる責任があります。
- > 私はマネージャーとして、従業員に有害なほどの時間外労働を要求することはありません。
- > ガイダンスが必要な場合は、人事部へお問い合わせください。





当社は、誠実さ、高潔さ、
他者への敬意をもって
事業を行います



当社は、組織内および社外とのあらゆる取引関係において、倫理的な行動をとることを決意しています。高い倫理基準が私たちの行動の指針であり、誠実さ、高潔さ、他者への敬意は、私たちが生き、働く上で大切にしている価値観です。

ビジネス原則「Committed(倫理と公正)」には以下の項目が含まれます：

- 贈収賄と汚職の防止
- 非共謀
- 利益相反
- 公正な競争
- 輸出管理と貿易制裁
- 政治献金



汚職および贈収賄と戦う

私たちは汚職を、個人的な利益のために委任された権力を乱用または悪用することと定義しています。贈収賄とは、取引や意思決定に影響を与えるために、有価物を申し出ること／提供すること、あるいは要求すること／受け取ることであり、当社は、いかなる形であれ、これらを決して容認しません。

当社の約束：

- > 当社は、いかなる形の贈収賄や汚職も一切容認しません。これは、当社が事業を展開するすべての国における、あらゆる商取引および手続きに適用されます。
- > 当社は、公的・商業的を問わず、いかなる形の贈収賄も容認しません。これは、全従業員だけでなく、当社に代わって活動する代理店、サプライヤー、請負業者、派遣社員、コンサルタントなどの第三者についても同様です。
- > 当社は、贈収賄および汚職防止に関する研修を実施し、全従業員が定期的に受講しているかどうかをチェックします。

私の役割：

- > 私は、アルファ・ラバルがいかなる形の贈収賄や汚職も容認しないことを承知しており、それを尊重します。
- > 私は、お客様、行政関係職員、公務員、またはその他の人物との取引や手続きにおいて、不正な決定の確保、不当な利益の獲得、不利益の回避、または商取引の獲得または維持を目的として、有価物を提供したり、約束したり、受け取ったり、申し出たりすることは、決してありません。
- > 私は、業務上の慣行的な贈答品やもてなしは、善意の行為であるべきであり、当社との取引に対する報酬であってはならないことを承知しています。贈るにせよ、受け取るにせよ、贈答品や接待は適度な価値のものでなければならず、意思決定に影響を及ぼすものであってはなりません。価値判断に関しては、適用される地域／セクターの目安に従う必要があります。
- > 私は、賄賂は現金、商品券または引換券、相当な価値のある贈答品、手数料またはリベート、慈善団体への寄付、旅行または接待、好意的な宣伝という形態をとることがあるのを承知しています。
- > 私は、贈答品や便益を受け取ることが、そのビジネスパートナーに関する今後の意思決定に影響するかどうかを常に自問します。
- > 誰かが私に不適切な贈答品、便宜、またはその他の疑わしい利益や便益を提供してきた場合、私は丁重にお断りし、必要に応じてこのビジネス原則を参照します。また私の上司、グループ法務部またはグループのコンプライアンス部門にこの問題を提起します。何らかの理由でそれが不可能な場合は、当社 [website](#) の「**Speak up!**」内部通報セクションを通じて通報します。他人の不正行為は、私が不正行為をする言い訳にはなりません。



関連するポリシー：
アルファ・ラバル贈収賄・汚職
防止ポリシー

違法行為に反対する

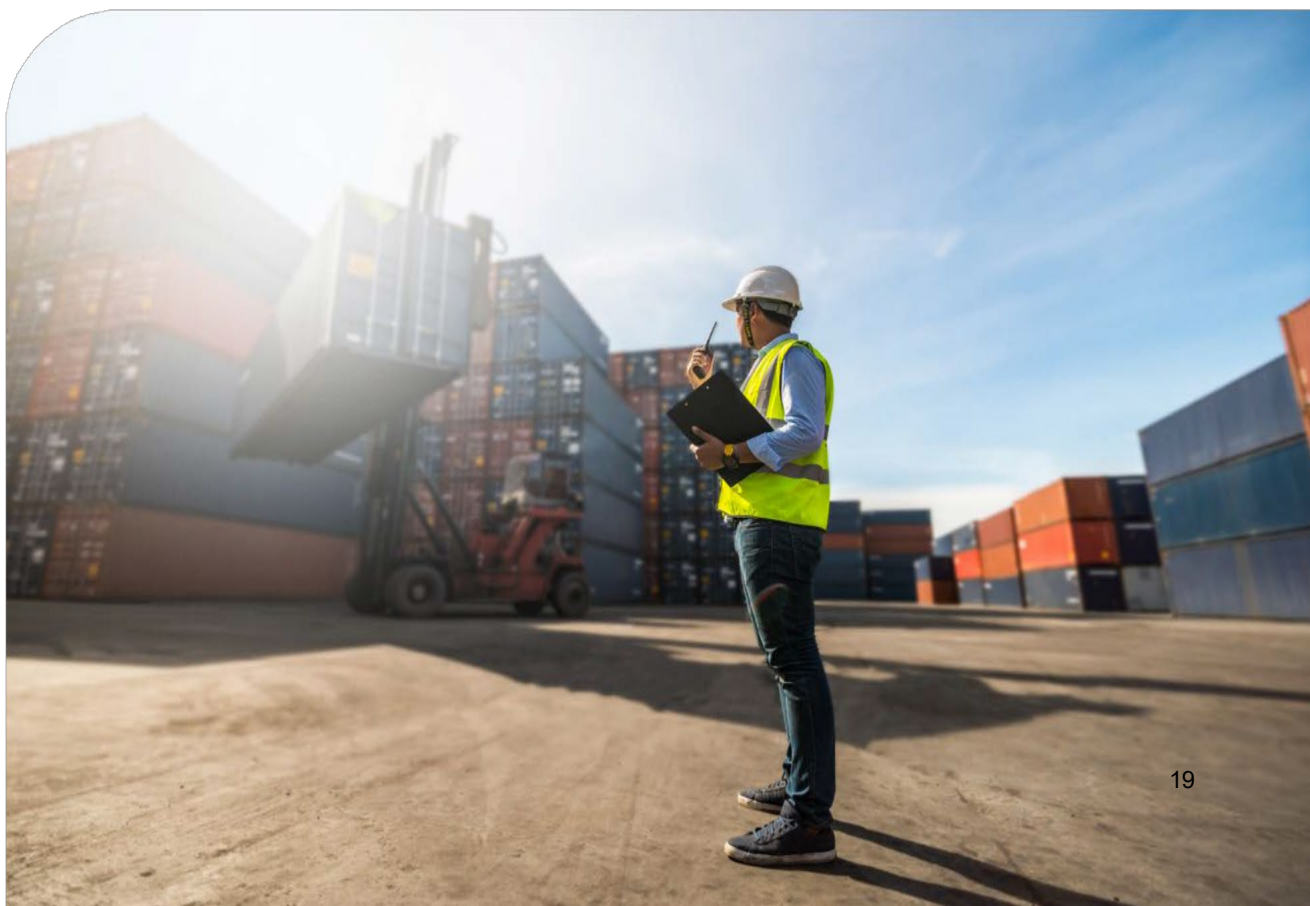
非共謀とは、アルファ・ラバルが従業員、パートナー、または顧客による非倫理的または違法な行為を一切容認せず、加担しないことを意味します。

当社の約束:

- > 当社は、常に犯罪行為をしかるべき当局に通報し、またあらゆる捜査に協力します。
- > 当社の製品およびサービスが違法な目的で使われていることを確認した場合、当社は常に当社のビジネス原則に従って行動します。

私の役割:

- > 私は責任を持って行動し、違法または非倫理的な行為、あるいは当社のビジネス原則に反する行為を見かけた場合、「見て見ぬふり」はしません。このような違反は直ちに上司およびグループのコンプライアンス部門に報告します。
- > 私は、誤りを認め、報告することは、真実を隠すよりも常に良いことであることを忘れません。
- > 私は、上記に従って行動しない場合、会社と私双方に高額の罰金、犯罪捜査、制裁などの厳しい結果を招くことを認識しています。



利益相反リスクを軽減する

利益相反は、雇用主に対する義務よりも個人的な利益の方を選択したり、個人的な利益のために自分の立場を利用するときに生じます。

当社の約束：

- > 従業員が、個人的または私的な利益とアルファ・ラバルグループの利益が相反する可能性のある状況に身を置くことは容認されません。

私の役割：

- > 私は、常にアルファ・ラバルの利益を最優先に、業務上の意思決定を行います。
- > 私は、利益相反が生じるいかなる活動にも関与しません。
- > 利益相反の可能性を察知した場合、私はその状況について率直かつ透明性をもって、遅滞なく上司に報告します。
- > 私は、親族や家族が、サプライヤー、お客様、会社従業員、または公務員で、相互に関係する立場にある場合、その立場において当社との利益相反がないことを確認します
- > 上記に該当する場合、相互依存にあるビジネス関係を結べないことを承知しています。



関連するポリシー：
アルファ・ラバル贈収賄・汚職
防止ポリシー

市場において公正に競争する

独占禁止法および競争法は、市場における公正な競争を確保するために世界中で施行されています。これらの法律は、反競争的な協定や市場における支配的地位の乱用を禁止しています。競争法で認められない活動にはさまざまな種類があります。

当社の約束:

- > 当社は、自由で公正な市場競争に向けて尽力しており、製品、ブランド、サービスによって提供する性能や利点で競争します。
- > 当社は活動しているすべての市場で独占禁止法と競争法を遵守します。
- > 当社は、従業員が競争法の条項を確実に理解するように従業員教育を実施し、また支援します。

私の役割:

- > 私は、価格設定、取引条件、生産、技術開発、入札、お客様対応、市場共有、その他の市場活動に関して、競合他社といかなる協定も結びません。
- > 私は、非公開の機密情報について競合他社と協議したり、共有したりすることは決してありません。
- > 私は、お客様の価格戦略に対して決して影響を及ぼそうとせず、お客様の独立性を尊重します。
- > 私は、競合他社を市場から排除するような活動は行いません。
- > 法律違反には高額な罰金が適用されることを肝に銘じます。違反は、ブランドに対する悪評、損害賠償請求、会社および従業員自身への犯罪捜査や制裁につながる可能性があることを承知しています。
- > 私は、競合他社との接触はすべて上級マネージャーが行い、アルファ・ラバル公正競争ポリシーに沿って行わなければならないことを承知しています。
- > 公正競争に関するガイダンスについては、グループのコンプライアンス部門にお問い合わせください。



関連するポリシー:
アルファ・ラバル公正競争ポリシー



責任ある取引を行う

グローバル企業であることは、国際貿易規則を遵守しなければならないことを意味します。輸出管理および貿易制裁によって、特定の商品の輸出や、特定の国および／または特定の個人、企業、組織との取引が禁止または制限されます。責任ある合法的な国際商取引を確保するためには、これらの規則に従わなければなりません。

当社の約束：

- > 当社は、適用されるすべての輸出入法および貿易・商取引規制の遵守に努めます。
- > 当社は、貿易・商取引コンプライアンス体制が適切に機能することで、新たなビジネスチャンスが生まれると信じています。
- > 当社は、貿易・商取引コンプライアンスの意識と知識を確保するために従業員を教育し、規制遵守を日々の業務に組み込んでいます。
- > 当社は、責任ある合法的な商取引を確保するため、リスクに基づいたデューデリジェンスを適切に実施します。

私の役割：

- > 私は、貿易活動や商取引について、輸出管理および貿易制裁に関する規制が適用され得る状況を確認します。
- > 私には、日常業務に関係する貿易・商取引コンプライアンスの要件と規制を理解する責任があります。そのために、要件が記載されたポリシーと関連文書を活用します。
- > 営業担当者として、私はレッドフラッグ(要注意)の状況を確認し、対処する必要があり、またそれを上司とグループのコンプライアンス部門に報告します。
- > 私は、ビジネスパートナー(取引先)の審査を実施し、疑わしい場合はグループのコンプライアンス部門に連絡します。
- > ガイダンスが必要な場合は、グループのコンプライアンス部門にお問い合わせください。



関連するポリシー：
輸出規制および貿易制裁ポ
リシー

中立性を守る

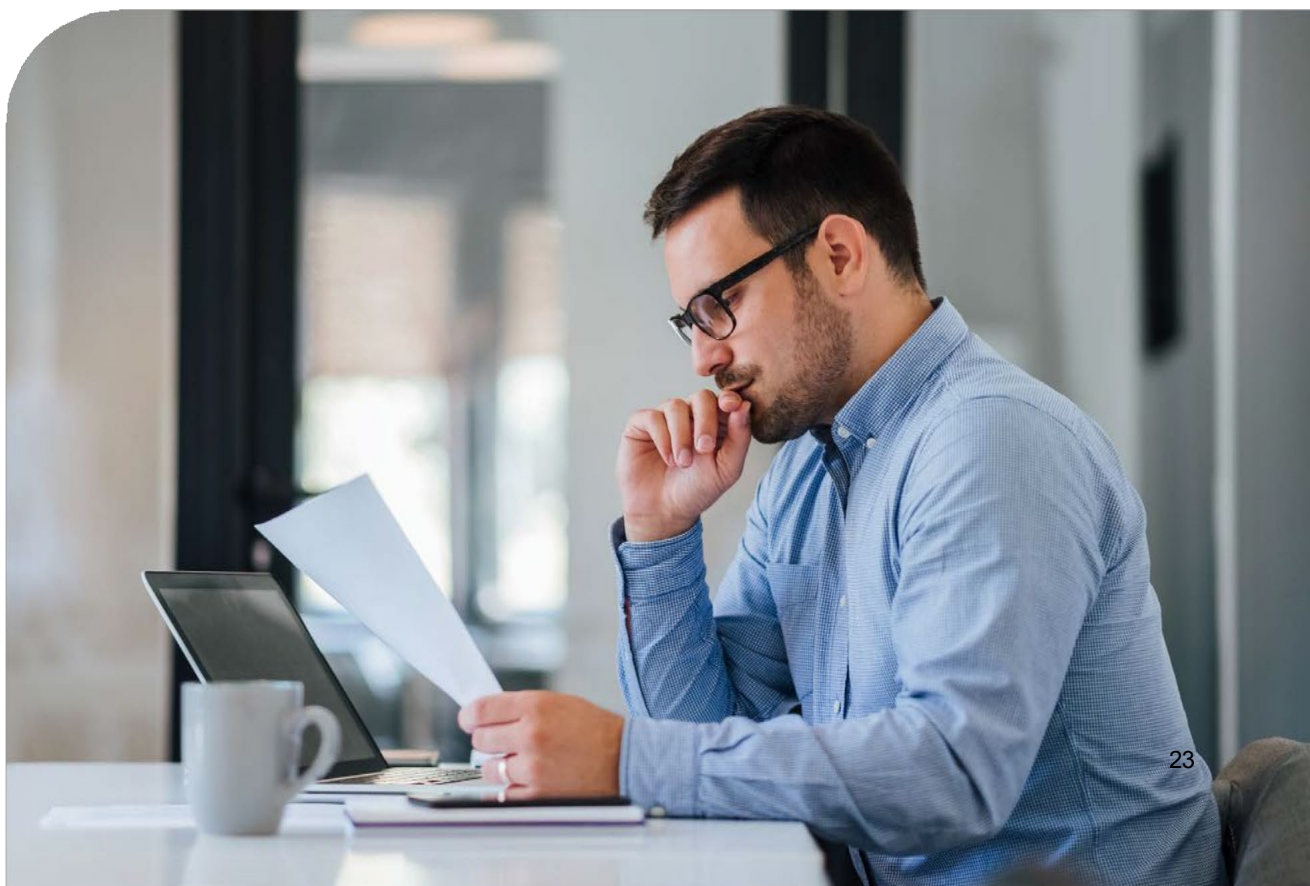
政治献金とは、政治家、政治キャンペーン、政党に対して行われるものです。アルファ・ラバルは企業として、政党や候補者に対する中立性を確保します。

当社の約束:

- > 当社は、アルファ・ラバルの社名やその他のグループ会社名、商標などを、政党や候補者の利益を促進するために使用することはありません。また、政党、委員会、政治家個人に献金することはありません。
- > 政治的ロビー活動は、アルファ・ラバルの特別に権限を与えられた従業員によって行われる合法的な活動であり、これらの活動はグループの代表として常に透明かつ公正に行われます。

私の役割:

- > 私は、自分の選択として政治活動に参加する自由がありますが、会社を代表して参加することはありません。私が個人的に政治活動に参加する場合は、自分の時間と費用で行います。アルファ・ラバルの構内や勤務時間中に政治的活動を行うことは許されないことを承知しています。
- > 私は、アルファ・ラバルを代表して、行政やその他の公的機関と協議を行い、公共政策向けに情報を提供したり、影響を与える場合は、責任を持って公正に行わなければなりません。
- > ガイダンスが必要な場合は、グループのコンプライアンス部門にお問い合わせください。





当社は、透明性のある
コミュニケーションを重視
し、機密保持を尊重します



当社はすべての利害関係者とオープンな対話を行い、信頼に基づいたビジネス関係を構築します。また、信頼を得るには、機密情報を漏洩したり、伝えたりしないように注意することも必要です。

ビジネス原則「Transparency(透明性と信頼)」には以下の項目が含まれます。

- － 個人情報の保護
- － 機密情報
- － 会計管理と検証
- － 会社資産



個人情報に配慮する

オンライン環境の世界的な拡大に伴い、膨大な量のデータが転送されるようになり、個人情報保護の必要性が高まっています。私たちがオンラインで行うほとんどの活動が、個人情報の収集を可能にしています。

当社の約束：

- > 当社は、国籍や居住地にかかわらず、個人情報の保護に関する個人の基本的権利を尊重します。
- > 当社は、個人情報を保護するために適切な措置を講じるとともに、適用される個人情報保護規則を遵守して、個人情報の保管、収集、利用を行います。

私の役割：

- > 私は常に他者を尊重し、プライバシーに配慮して行動します。
- > 個人情報を収集、保存、使用する場合、私は会社のデータ保護ポリシーに従って行なわなければなりません。
- > 私は職務上必要な範囲でしか個人情報にアクセスできません。私には個人情報を保護し、機密保持を行う義務があります。
- > 人の写真撮影は、本人の許可を得た場合のみ行います。
- > 個人情報の取り扱い方について不明な場合は、個人情報保護責任者に確認します。



関連するポリシー：
アルファ・ラバルデータプライバシーポリシー

大切な企業情報を守る

機密情報とは、書面または口頭による、事業に関連するすべての重要な非公開情報のことであり、機密表示の有無を問いません。これらの情報には、技術、財務、従業員、顧客、ビジネスパートナーに関する情報などが含まれます。

当社の約束:

- > アルファ・ラバルに関する情報は貴重な資産です。この情報には、財務情報、技術情報、事業情報が含まれます。
機密情報は、状況によってはインサイダー情報にもなり得ます。
- > 当社は機密情報や専有情報を不適切に開示することはありません。アルファ・ラバルの株価に影響を与える可能性のある情報については、常に当該情報に関する規則を厳格に遵守して公表するものとします。
- > アルファ・ラバルでは、インサイダー取引および違法なインサイダー情報の開示は固く禁じられています。

関連するポリシー:

グループ情報セキュリティポリシー、
グループコミュニケーションポリシー、
インサイダーポリシー



私の役割:

- > 私は、業務に関連して得たいかなる情報も、その情報が公開済みと明記されていない限り、機密として扱います。
- > 私は、機密情報や機微情報について、他人の耳に入るような場所で話さないよう注意します。また、ソーシャルメディアなどの保護されていないチャネルを通じて機密情報を伝達することはありません。
- > アルファ・ラバルを代表して発言できるのは、グループ経営陣、権限を付与されたマネージャー、任命された会社の広報担当者のみであることを私は承知しています。
- > 機密情報を第三者と共有する必要がある場合は、機密保持契約が締結されていることを確認します。
- > 私は、特別の許可なく工場や事務所内の作業工程、工具、機械などの写真を撮影することはありません。
- > 機密情報の守秘義務は、私の退職後も残存する可能性があることを承知しています。
- > 私は、すべての業務関連の連絡は、アルファ・ラバルの電子メールアカウントまたは他の会社関係のチャネルのみを使用して行います。
- > インサイダー情報を入手した場合、法的義務および規制上の義務が課せられます。私はいかなるインサイダー情報も開示したり、直接的または間接的にアルファ・ラバル株の売買に使用したり、他人に株の売買を推奨または促したりすることはありません。
- > 私が保有する知識はインサイダー情報あるいは別の意味で機密情報にあたるのでしょうか？
アドバイスが必要な場合は、グループ法務部またはグループの広報部門にお問い合わせください。



データを誠実にレポートする

株主、顧客、サプライヤー、その他の利害関係者の信頼を維持するためには、財務諸表の正確性が不可欠です。すべての財務取引の会計処理と検証は、適用される会計原則に従って行われなければなりません。

当社の約束:

- > 当社は、財務記録と財務報告が適時に作成され、事実に基づき、事業取引を正確に反映していることを確認します。
- > 当社は、意図的に取引の本質を隠したり、誤解を招くような情報を帳簿や記録に記載することを認めません。また、目標やKPIに影響を与えるために誤解を招くような情報を記載することを認めません。
- > 会計不正には、収益、費用、資産、負債の虚偽記載が含まれます。また、目標やKPIに影響を与えるために、会計マニュアル(MISAL)を意図的に誤用することも含まれます。
- > アルファ・ラバルのレポートシステムおよび内部監査システムは、外部や独立機関による検証に適する必要があります。

私の役割:

- > 私は、財務目標を達成するために会計規則を操作または変更することを禁じられています。
- > 私は、財務取引について報告する際は、常にアルファ・ラバル会計マニュアル(MISAL)に従います。
- > 私は、情報を報告する際、事実を偽って報告せず、その情報が取引の内容を正確に反映していることを確認します。
- > 私は、財務記録の誤りに気づいた場合、または不正行為が行われた疑いがある場合、遅滞なく報告します。
- > ガイダンスが必要な場合は、グループの財務部門または内部監査部門にお問い合わせください。



関連するポリシー:
アルファ・ラバル事業管理ポリシー

当社の資産を守る

会社の所有物、コンピューター、その他のモバイル機器、機械、そしてブランド、特許、ノウハウ、情報など、**会社の資産**はすべて、被害や犯罪行為から保護し、事業目的のみに使用されなければなりません。
会社資産に対する不正行為や悪用は決して許されません。

当社の約束:

- > 当社は、会社の資産に対する不正行為や不正使用を容認しません。
- > 当社は資産を保護するために設定された内部管理システムを確立しています。

不正行為の例:

- > 不正行為には、会社から意図的または計画的に資産または資金を奪う行為が含まれます。資産の不正使用には、窃盗、経費報告書や勤怠報告書の改ざん、会社のコンピューター、電話、設備機器の不適切な使用などが含まれます。

私の役割:

- > 私は、会社の資産を業務目的のみに使用します。
- > 私は、会社のコンピューター、携帯電話、ITシステムを使用して、不適切、違法、卑猥、その他の好ましくない資料を閲覧しません。
- > 会社の資産は業務に不可欠であるため、損傷、紛失、犯罪行為から守るよう心掛けます。
- > 私は、会社の内部管理システムと手続きを遵守します。
- > 私は、当社のブランド、特許、商標、ノウハウ、著作権について、責任を持って指示通りに使用します。
- > 私は、会社の資産を個人的な利益や違法行為のために使用することはありません。
- > 私的な使用については、合理的な範囲内で、アルファ・ラバルの利用規定に従って行います。
- > ガイドンスが必要な場合は、グループ情報セキュリティまたは、グループ法務部へお問い合わせください。

関連するポリシー:
アルファ・ラバルグループ情報セキュリティポリシー





地球環境に配慮しながら
成長することが
継続的な成功を導きます



当社の製品は、産業プロセスにおける環境負荷の低減に大きく貢献しており、この点で私たちはユニークな立場にあります。また当社は、バリューチェーンの全体にわたって、継続的に環境への影響を削減する責任を負っています。

ビジネス原則の「Planet(地球と環境)」には以下の項目が含まれます。

－ 環境負荷



地球と環境を守る

私たちは責任を持って天然資源を管理し、**環境への負荷**を軽減するために継続的に取り組んでいます。

当社の約束：

- > 当社はバリューチェーンの全体にわたって継続的な環境フットプリントの削減に努め、お客様に生産性と競争力を高める機会を提供します。
- > 当社は、事業活動において測定可能な削減目標を設定し、サプライヤーにも同様の取り組みを求めます。さらに、お客様のプロセスに設置される当社の製品やソリューションは、天然資源の効率的な管理に貢献します。
- > 当社は、環境問題に対する予防的な取り組みを支持しています。これは、科学と最新の知識に基づいて環境負荷を削減するよう努めることを意味します。当社の環境ポリシーは、この分野における当社の取り組み方を明確に示しています。



関連するポリシー：
アルファ・ラバル環境ポリシー

私の役割：

- > 私は、環境課題を継続的に改善する上で重要な役割を果たします。
- > 私は、自分のチームや業務領域がアルファ・ラバルの環境フットプリント全体にどのように貢献できるかを考えます。
- > 私は、たとえ現地の法律で容認されていたとしても、グループとして非倫理的または環境上有害であると考える簡便的な方法は取りません。
- > 私は、自分の業務領域において、適切な環境法規上の許認可を得ているか確認します。
- > 私は、エネルギー、水、化学薬品、資材などの資源を賢明な方法で使用します。
- > 私は、Web会議設備や電話などを利用して、出張旅行を最小限に抑えます。
- > ガイダンスが必要な場合は、グループのサステナビリティ担当部門または地域の環境担当者にお問い合わせください。





アルファ・ラバルの概要

アルファ・ラバルは、エネルギー、海洋、食品・水の分野において、その専門知識、製品、サービスを通じて約100か国で幅広い業界を支えています。

プロセスの最適化、環境への責任を果たしながらの成長、進歩の促進に取り組み、お客様がビジネス目標とサステナビリティ目標を達成するためのサポートに常に全力を尽くします。

アルファ・ラバルの革新的なテクノロジーは、エネルギー効率と熱回収の改善、より良い水処理、温室効果ガスや排ガスの排出削減に特化し、資源の浄化、精製、再利用を通じて、限りある天然資源の有効な使用に貢献します。これらを通じてアルファ・ラバルは、お客様、人々、地球のために、その成功を加速させることで、日々世界をより良くしていきます。

100003457-1-EN 2105